

地域共生学科 (学科共通)

＜令和7年度入学生＞

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年		2年		主要授業科目	備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期		
基礎教育科目 (全学共通)	大学教育入門	講義	1		○				◎	
	データサイエンス基礎	講義	1		○				◎	※
	茶道文化Ⅰ	演習	1		○				◎	
	茶道文化Ⅱ	演習	1			○			◎	
	茶道文化Ⅲ	演習	1				○		◎	
	茶道文化Ⅳ	演習	1					○	◎	
	小計(6科目)		6	0						
基礎教育科目 (学科共通)	地域と人々	実習	1		○	○			◎	
	地域と職業	講義	1			○			◎	※
	基礎化学	講義		2	○					
	基礎化学実習	実習		1	○					
	心理学	講義		2	○					栄養・製菓は2年前期
	ビジネスマナー	演習		1	○					※
	福祉文化	演習		1		○				
	コンピュータ演習Ⅰ	演習		1	○					※
	コンピュータ演習Ⅱ	演習		1		○				※
	Office総合演習	演習		1				○		※
	英語コミュニケーションⅠ	演習		1	○					栄養は2年後期
	英語コミュニケーションⅡ	演習		1	○					
	フランス語Ⅰ	演習		1	○					
	フランス語Ⅱ	演習		1	○					
	日本語Ⅰ	演習		1	○					
	日本語Ⅱ	演習		1	○					
	実践文書作成	演習		1	○					
	スポーツ実習	実習		1		○				
	スポーツ科学	講義		2				○		
小計(19科目)		2	20							
計(25科目)		8	20							

※：実務経験者が担当

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 1 基礎教育科目から10単位以上
- 2 所属するコースの専門教育科目から36単位以上
- 3 基礎教育科目と専門教育科目の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

地域共生学科 (学科共通)

＜令和6年度入学生＞

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年		2年		主要授業科目	備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期		
基礎教育科目 (全学共通)	大学教育入門	講義	1		○				◎	
	データサイエンス基礎	講義	1		○				◎	※
	茶道文化Ⅰ	演習	1		○				◎	
	茶道文化Ⅱ	演習	1			○			◎	
	茶道文化Ⅲ	演習	1				○		◎	
	茶道文化Ⅳ	演習	1					○	◎	
	小計(6科目)		6	0						
基礎教育科目 (学科共通)	地域と人々	実習	1		○	○			◎	
	地域と職業	講義	1			○			◎	※
	基礎化学	講義		2	○					
	基礎化学実習	実習		1	○					
	心理学	講義		2	○					栄養・製菓は2年前期
	ビジネスマナー	演習		1	○					※
	福祉文化	演習		1				○		
	コンピュータ演習Ⅰ	演習		1	○					※
	コンピュータ演習Ⅱ	演習		1		○				※
	Office総合演習	演習		1				○		※
	英語コミュニケーションⅠ	演習		1	○					栄養は2年後期
	英語コミュニケーションⅡ	演習		1	○					
	フランス語Ⅰ	演習		1	○					
	フランス語Ⅱ	演習		1	○					
	日本語Ⅰ	演習		1	○					
	日本語Ⅱ	演習		1	○					
	実践文書作成	演習		1	○					
	スポーツ実習	実習		1		○				
	スポーツ科学	講義		2				○		
小計(19科目)		2	20							
計(25科目)		8	20							

※：実務経験者が担当

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 1 基礎教育科目から10単位以上
- 2 所属するコースの専門教育科目から36単位以上
- 3 基礎教育科目と専門教育科目の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

地 域 共 生 学 科

(食物栄養コース)

<令和7・6年度入学生>

科目 区分	授業科目	授業 方法	単位数		1年		2年		主要 授業 科目	備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期		
専 門 教 育 科 目	栄養士論	講義		2	○					※
	公衆衛生学	講義		2				○	◎	
	社会福祉概論	講義		2				○	◎	※
	解剖生理学Ⅰ	講義		2	○				◎	※
	解剖生理学Ⅱ	講義		2		○			◎	※
	解剖生理学実習	実習		1		○			◎	
	運動生理学	講義		2				○	◎	
	生化学	講義		2	○				◎	
	生化学実習	実習		1		○			◎	
	食品学Ⅰ	講義		2	○				◎	
	食品学Ⅱ	講義		2		○			◎	
	食品学実習	実習		1				○	◎	
	食品衛生学	講義		2				○	◎	
	食品衛生学実習	実習		1				○	◎	
	基礎栄養学	講義		2	○				◎	
	応用栄養学	講義		2		○			◎	
	応用栄養学実習	実習		1			○		◎	
	臨床栄養学総論	講義		2		○			◎	※
	臨床栄養学各論	講義		2			○		◎	※
	臨床栄養学実習	実習		1			○		◎	※
	公衆栄養学	講義		2				○	◎	
	栄養指導論Ⅰ	講義		2	○				◎	
	栄養指導論Ⅱ	講義		2			○		◎	
	栄養指導論実習Ⅰ	実習		1		○			◎	
	栄養指導論実習Ⅱ	実習		1			○		◎	
	給食管理論	講義		2		○			◎	※
	給食管理実習Ⅰ	実習		1			○		◎	※
	給食管理実習Ⅱ	実習		1				○	◎	※
	学外実習Ⅰ	実習		1				○	◎	※
	学外実習Ⅱ	実習		1				○	◎	※
	学外実習事前・事後指導	実習		1				○	◎	
	調理学	講義		2	○				◎	
	調理学実習ⅠA	実習		1	○				◎	
	調理学実習ⅠB	実習		1	○				◎	
	調理学実習ⅡA	実習		1		○			◎	
	調理学実習ⅡB	実習		1		○			◎	
	調理学実習Ⅲ	実習		1			○			
	調理学実習Ⅳ	実習		1				○		
	スポーツ栄養学	講義		2		○				
	スポーツ栄養学実習	実習		1			○	○		
	総合演習A	演習		1				○	◎	※
	総合演習B	演習		1				○	◎	※
	栄養士専門演習	演習		1				○		
小計(43科目)			0	63						

※：実務経験者が担当

長崎短期大学地域共生学科食物栄養コースに関する規程

(平成28年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規程は、長崎短期大学学則6条の2の規定に基づき、食物栄養コースに関し必要な事項を定める。

(課程の設置)

第2条 食物栄養コースを、栄養士養成課程（以下「養成課程」という。）とする。

(養成課程の目的)

第3条 養成課程は、栄養士法第1条に規定する栄養士の養成を目的とする。

(学級数及び定員)

第4条 養成課程の学級数は1学年1クラスとし、定員は各学年とも35人とする。

(履修)

第5条 養成課程を履修できる者は、入学時において学長の許可を受け、かつ、地域共生学科食物栄養コースに在籍する者に限る。

(授業)

第6条 養成課程の資格取得に係る専門教育科目の授業は、単独で行うものとする。

(資格取得)

第7条 栄養士資格を得るためには養成課程に所属し、学則に規定する卒業の要件を充足するとともに、栄養士法施行規則別表第1に対応する専門教育科目をすべて修得しなければならない。

(単位の計算方法)

第8条 実験、実習及び実技について、1単位に必要な授業時間数は、学則第23条の規定に関わらず、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間とする。

(事務)

第9条 この規程の事務は、学生支援課が行う。

(改定)

第10条 この規程の改定は、教務委員会および運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日）

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和5年4月1日規程第99号）

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月1日）

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

別表第1（第7条関係）

栄養士法施行規則別表第1に規定する教育内容の対照表

栄養士法施行規則			本学開講教育科目			
	教育内容	単位数		科目名	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習
専門基礎分野	社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2	
	人体の構造と機能	8		社会福祉概論	2	
				解剖生理学Ⅰ	2	
解剖生理学Ⅱ			2			
解剖生理学実習				1		
運動生理学			2			
生化学	2					
生化学実習		1				
食品と衛生	6	食品学Ⅰ	2			
		食品学Ⅱ	2			
		食品学実習			1	
		食品衛生学	2			
		食品衛生学実習			1	
専門分野	栄養と健康	8	基礎栄養学	2	1	
			応用栄養学	2		
			応用栄養学実習			
			臨床栄養学総論	2		
			臨床栄養学各論	2		
			臨床栄養学実習			1
	栄養の指導	6	公衆栄養学	2	1	
			栄養指導論Ⅰ	2		
			栄養指導論Ⅱ	2		
			栄養指導論実習Ⅰ			1
			栄養指導論実習Ⅱ			1
	給食の運営	4	給食管理論	2	1	
			給食管理実習Ⅰ			1
			給食管理実習Ⅱ			1
			学外実習Ⅰ			1
学外実習事前・事後指導			1			
調理学			2			
調理学実習ⅠA				1		
調理学実習ⅠB				1		
調理学実習ⅡA				1		
調理学実習ⅡB		1				
小計	36	14	小計	37	15	
合計	50		合計	52		

備考

- 1 栄養と健康及び栄養の指導の実験又は実習は、それぞれ1単位以上行う。
- 2 給食の運営は、学内実習及び校外実習をそれぞれ1単位以上行う。

地 域 共 生 学 科

(製菓コース)

<令和7年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期		主要授業科目	備考
			必修	選択	1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q		
専門教育科目	衛生法規	講義		2						○			◎	
	公衆衛生学Ⅰ	講義		2			○						◎	※
	公衆衛生学Ⅱ	講義		2						○			◎	※
	食品学Ⅰ	講義		2			○	○					◎	
	食品学Ⅱ	講義		2					○				◎	
	栄養学Ⅰ	講義		2	○								◎	※
	栄養学Ⅱ	講義		2		○							◎	※
	食品衛生学Ⅰ	講義		2	○								◎	
	食品衛生学Ⅱ	講義		2			○						◎	
	食品衛生学Ⅲ	講義		2					○				◎	
	食品衛生学Ⅳ	講義		2							○		◎	
	製菓理論Ⅰ	講義		2	○								◎	※
	製菓理論Ⅱ	講義		2		○							◎	※
	製菓理論Ⅲ	講義		2							○		◎	※
	製菓実習Ⅰ	実習		4	○	○							◎	※
	製菓実習Ⅱ	実習		2			○						◎	※
	製菓実習Ⅲ	実習		2				○					◎	※
	製菓実習Ⅳ	実習		4					○	○			◎	※
	製菓実習Ⅴ	実習		4							○	○	◎	※
	製菓技術実習	実習		1				○					◎	※
	製菓店経営概論	講義		2								○	◎	
	インターンシップ	実習		3				○						※
	総合演習Ⅰ	演習		2		○	○	○						※
	総合演習Ⅱ	演習		2					○	○	○			※
	製菓実践演習	演習		2							○	○		
	調理実習Ⅰ	実習		1					○	○				
	調理実習Ⅱ	実習		1							○	○		
	ホスピタリティ論	講義		2							○			※
	カフェ学Ⅰ	演習		2			○							※
	カフェ学Ⅱ	演習		2					○	○				※
	トータルコーディネーター	演習		2			○	○	○	○				※
小計(31科目)			0	66										

※：実務経験者が担当

基礎教育科目のうち以下の科目は必修とする。

- ・コンピュータ演習Ⅱ
- ・語学(英語コミュニケーション、フランス語、日本語のいずれか)
- ・スポーツ実習

地 域 共 生 学 科

（ 製菓コース ）

<令和6年度入学生>

科目 区分	授業科目	授業 方法	単位数		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期		主要 授業 科目	備考	
			必修	選択	1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q			
専門 教育 科目	衛生法規	講義		2							○		◎		
	公衆衛生学Ⅰ	講義		2			○						◎	※	
	公衆衛生学Ⅱ	講義		2						○			◎	※	
	食品学Ⅰ	講義		2		○							◎		
	食品学Ⅱ	講義		2			○						◎		
	栄養学Ⅰ	講義		2	○								◎	※	
	栄養学Ⅱ	講義		2		○							◎	※	
	食品衛生学Ⅰ	講義		2	○								◎		
	食品衛生学Ⅱ	講義		2			○						◎		
	食品衛生学Ⅲ	講義		2						○			◎		
	食品衛生学Ⅳ	講義		2							○		◎		
	製菓理論Ⅰ	講義		2	○								◎	※	
	製菓理論Ⅱ	講義		2		○							◎	※	
	製菓理論Ⅲ	講義		2						○			◎	※	
	製菓実習Ⅰ	実習		4	○	○							◎	※	
	製菓実習Ⅱ	実習		2			○						◎	※	
	製菓実習Ⅲ	実習		2				○					◎	※	
	製菓実習Ⅳ	実習		4					○	○			◎	※	
	製菓実習Ⅴ	実習		4							○	○	◎	※	
	製菓技術実習	実習		1				○					◎	※	
	製菓店経営概論	講義		2								○	◎		
	インターンシップ	実習		3				○							※
	総合演習Ⅰ	演習		2		○	○	○							※
	総合演習Ⅱ	演習		2					○	○	○				※
	製菓実践演習	演習		2							○	○			
	調理実習Ⅰ	実習		1					○	○					
	調理実習Ⅱ	実習		1							○	○			
	ホスピタリティ論	講義		2							○				※
カフェ学Ⅰ	演習		2			○								※	
カフェ学Ⅱ	演習		2					○	○					※	
トータルコーディネーター	演習		2						○					※	
	小計（31科目）		0	66											

※：実務経験者が担当

基礎教育科目のうち以下の科目は必修とする。

- ・コンピュータ演習Ⅱ
- ・語学（英語コミュニケーション、フランス語、日本語のいずれか）
- ・スポーツ実習

長崎短期大学地域共生学科製菓コースに関する規程

(平成15年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規程は、長崎短期大学学則第6条の2の規定に基づき、製菓コースに関し必要な事項を定める。

(課程の設置)

第2条 製菓コースを、製菓衛生師養成課程（以下「養成課程」という。）とする。

(養成課程の目的)

第3条 養成課程は、製菓衛生師法第2条に規定する製菓衛生師の養成を目的とする。

(学級数及び定員)

第4条 養成課程の学級数は1学年1クラスとし、定員は各学年とも20人とする。

(履修)

第5条 養成課程を履修できる者は、入学時において学長の許可を受け、かつ、地域共生学科製菓コースに在籍する者に限る。

(授業)

第6条 養成課程の資格取得に係る専門教育科目の授業は、単独で行うものとする。

(資格取得)

第7条 製菓衛生師の国家試験受験資格を得るためには養成課程に所属し、学則に規定する卒業の要件を充足するとともに、製菓衛生師法施行規則第18条第1項イに対応する専門教育科目をすべて修得しなければならない。

(事務)

第8条 この規程の事務は、学生支援課が行う。

(改定)

第9条 この規程の改定は、教務員会および運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成21年4月1日）

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成28年4月1日）

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日）

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和5年4月1日規程第99号）

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月1日）

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

別表第 1（第 7 条関係）

製菓衛生師施行規則第 1 8 条第 1 項イに規定する授業科目の対照表

製菓衛生師法施行規則			本学開講教育科目		
授業科目	時間数		開設授業科目名	時間数	
	講義	実習		講義	実習
衛生法規	30		衛生法規	30	
公衆衛生学	60		公衆衛生学Ⅰ	30	
			公衆衛生学Ⅱ	30	
食品学	60		食品学Ⅰ	30	
			食品学Ⅱ	30	
食品衛生学	96	24	食品衛生学Ⅰ	30	
			食品衛生学Ⅱ	30	
			食品衛生学Ⅲ	30	
			食品衛生学Ⅳ	6	24
栄養学	60		栄養学Ⅰ	30	
			栄養学Ⅱ	30	
社会	30		製菓店経営概論	30	
製菓理論	90		製菓理論Ⅰ	30	
			製菓理論Ⅱ	30	
			製菓理論Ⅲ	30	
製菓実習		480	製菓実習Ⅰ		120
			製菓実習Ⅱ		60
			製菓実習Ⅲ		60
			製菓実習Ⅳ		120
			製菓実習Ⅴ		120
			製菓技術実習		30
小計	426	504	小計	426	534
合計	930		合計	960	

地域共生学科

（ 介護福祉コース ）

<令和7年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期		主要授業科目	備考
			必修	選択	1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q		
専門教育科目	人間の尊厳と自立	講義		2				○					◎	※
	人間関係とコミュニケーションⅠ	講義		2				○					◎	※
	人間関係とコミュニケーションⅡ	講義		2							○	○	◎	※
	社会の理解Ⅰ	講義		1		○							◎	※
	社会の理解Ⅱ	講義		2			○	○					◎	※
	社会の理解Ⅲ	講義		1							○		◎	※
	介護の基本A	講義		4	○	○	○	○					◎	※
	介護の基本B	講義		4	○	○	○	○					◎	※
	介護の基本C	講義		4					○	○	○	○	◎	※
	コミュニケーションA	演習		1	○	○							◎	※
	コミュニケーションB	演習		1			○	○					◎	※
	生活支援技術A	演習		4	○	○	○	○					◎	※
	生活支援技術B	演習		2	○	○							◎	※
	生活支援技術C	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	生活支援技術D	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	介護過程Ⅰ	演習		1	○	○							◎	※
	介護過程Ⅱ	演習		1			○						◎	※
	介護過程Ⅲ	演習		2				○	○				◎	※
	介護過程Ⅳ	演習		1						○	○	○	◎	※
	介護総合演習Ⅰ	演習		2	○	○	○	○					◎	※
	介護総合演習Ⅱ	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	介護実習Ⅰ	実習		4	○	○	○	○					◎	※
	介護実習Ⅱ	実習		5				○	○	○			◎	※
	こころとからだA	講義		2	○	○							◎	※
	こころとからだB	講義		2		○							◎	※
	こころとからだC	講義		2			○						◎	※
	こころとからだD	講義		2					○	○			◎	※
	発達と老化の理解Ⅰ	講義		2	○	○							◎	※
	発達と老化の理解Ⅱ	講義		2			○	○					◎	※
	認知症の理解A	講義		2	○								◎	※
	認知症の理解B	講義		2			○	○					◎	※
	障害の理解Ⅰ	講義		2	○								◎	※
	障害の理解Ⅱ	講義		2			○						◎	※
	医療的ケアA	講義		2					○	○			◎	※
	医療的ケアB	講義		2					○	○			◎	※
	医療的ケアC	実習		2							○	○	◎	※
	小計（36科目）			78										

※：実務経験者が担当

地域共生学科

（介護福祉コース）

＜令和6年度入学生＞

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期		主要授業科目	備考
			必修	選択	1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q		
専門 教育 科目	人間の尊厳と自立	講義		2				○					◎	※
	人間関係とコミュニケーションⅠ	講義		2			○	○					◎	※
	人間関係とコミュニケーションⅡ	講義		2						○	○		◎	※
	社会の理解Ⅰ	講義		1		○							◎	※
	社会の理解Ⅱ	講義		2			○	○					◎	※
	社会の理解Ⅲ	講義		1						○			◎	※
	介護の基本A	講義		4	○	○	○	○					◎	※
	介護の基本B	講義		4	○	○	○	○					◎	※
	介護の基本C	講義		4					○	○	○	○	◎	※
	コミュニケーションA	演習		1	○	○							◎	※
	コミュニケーションB	演習		1			○	○					◎	※
	生活支援技術A	演習		4	○	○	○	○					◎	※
	生活支援技術B	演習		2	○	○							◎	※
	生活支援技術C	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	生活支援技術D	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	介護過程Ⅰ	演習		1	○	○							◎	※
	介護過程Ⅱ	演習		1			○						◎	※
	介護過程Ⅲ	演習		2				○	○				◎	※
	介護過程Ⅳ	演習		1						○	○	○	◎	※
	介護総合演習Ⅰ	演習		2	○	○	○	○					◎	※
	介護総合演習Ⅱ	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	介護実習Ⅰ	実習		5	○	○	○	○					◎	※
	介護実習Ⅱ	実習		5					○	○			◎	※
	こころとからだA	講義		2	○	○							◎	※
	こころとからだB	講義		2	○	○							◎	※
	こころとからだC	講義		2			○						◎	※
	こころとからだD	講義		2					○	○			◎	※
	発達と老化の理解Ⅰ	講義		2	○	○							◎	※
	発達と老化の理解Ⅱ	講義		2				○					◎	※
	認知症の理解A	講義		2	○								◎	※
	認知症の理解B	講義		2			○	○					◎	※
	障害の理解Ⅰ	講義		2	○	○							◎	※
	障害の理解Ⅱ	講義		2			○						◎	※
医療的ケアA	講義		2					○	○			◎	※	
医療的ケアB	講義		2					○	○			◎	※	
医療的ケアC	実習		2							○	○	◎	※	
小計（36科目）				79										

※：実務経験者が担当

長崎短期大学地域共生学科介護福祉コースに関する規程

(令和4年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規程は、長崎短期大学学則第6条の2の規定に基づき、介護福祉コースに関し必要な事項を定める。

(課程の設置)

第2条 介護福祉コースを、介護福祉士養成課程（以下「養成課程」という。）とする。

(養成課程の目的)

第3条 養成課程は、社会福祉士及び介護福祉士法第2条第2項に規定する介護福祉士の養成を目的とする。

(学級数及び定員)

第4条 養成課程の学級数は1学年1クラスとし、定員は各学年とも20人とする。

(履修)

第5条 養成課程を履修できる者は、入学時において学長の許可を受け、かつ、地域共生学科介護福祉コースに在籍する者に限る。

(授業)

第6条 養成課程の資格取得に係る専門教育科目の授業は、単独で行うものとする。

(資格取得)

第7条 介護福祉士の国家試験受験資格を得るためには養成課程に所属し、学則に規定する卒業の要件を充足するとともに、介護福祉士学校指定規則別表第四に規定する教育科目をすべて修得しなければならない。

(受験資格)

第8条 履修科目の受験資格は試験規程第2条によるものとする。ただし、介護実習については、原則として欠席を認めないが、やむを得ない事情がある場合は5分の4以上の出席を条件とする。

(事務)

第9条 この規程の事務は、学生支援課が行う。

(改定)

第10条 この規程の改定は、教務委員会および運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、令和4年4月1日より施行する。

附 則 (令和6年4月1日)

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

介護福祉士学校指定規則別表第四に規定する教育内容の対照表

領域	介護福祉士学校指定規則	時間数	本学開講授業科目	時間数
人間と社会	人間の尊厳と自立	30	人間の尊厳と自立	30
	人間関係とコミュニケーション	60	人間関係とコミュニケーションⅠ	30
			人間関係とコミュニケーションⅡ	30
	社会の理解	60	社会の理解Ⅰ	16
			社会の理解Ⅱ	30
			社会の理解Ⅲ	16
	人間と社会に関する選択科目	120	大学教育入門	15
			データサイエンス基礎	15
			茶道文化Ⅰ	30
			茶道文化Ⅱ	30
茶道文化Ⅲ			30	
茶道文化Ⅳ			30	
地域と人々			15	
地域と職業	15			
小計	270	小計	332	
介護	介護の基本	180	介護の基本A	60
			介護の基本B	60
			介護の基本C	60
	コミュニケーション技術	60	コミュニケーションA	30
			コミュニケーションB	30
	生活支援技術	300	生活支援技術A	120
			生活支援技術B	60
			生活支援技術C	60
			生活支援技術D	60
	介護過程	150	介護過程Ⅰ	30
介護過程Ⅱ			30	
介護過程Ⅲ			60	
介護過程Ⅳ			30	
介護総合演習	120	介護総合演習Ⅰ	60	
		介護総合演習Ⅱ	60	
介護実習	450	介護実習Ⅰ	208	
		介護実習Ⅱ	248	
小計	1,260	小計	1,266	
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ	120	こころとからだのしくみA	30
			こころとからだのしくみB	30
			こころとからだのしくみC	30
			こころとからだのしくみD	30
	発達と老化の理解	60	発達と老化の理解Ⅰ	30
			発達と老化の理解Ⅱ	30
	認知症の理解	60	認知症の理解A	30
			認知症の理解B	30
	障害の理解	60	障害の理解Ⅰ	30
			障害の理解Ⅱ	30
小計	300	小計	300	
医療的ケア	医療的ケア	50	医療的ケアA	36
			医療的ケアB	36
			医療的ケアC	60
	小計	50	小計	132
合計	1,880	合計	2,030	

介 護 実 習

1. 介護実習の目的

介護の実体験を通して、学内で学んだ内容を総合的に捉え、介護とは何かを理解・再確認し、介護を实践する基礎的能力を修得する。

2. 介護実習の目標

- (1) 利用者の生活を観察し個別ケアを理解する。また、利用者や家族とコミュニケーションを図り、生活支援技術を確認し、多職種協働や関係機関との連携を通じて介護福祉士の役割を理解する。
- (2) 個別ケアを実施するために、利用者の課題を明確にした上で、個別援助計画の立案や実施後の評価という介護過程を展開する。さらに、こころとからだと、社会の領域で学修した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスを提供する実践力を修得する。

3. 実習指導の方法

- (1) 介護実習時期や期間、介護実習先の設定は実習目標が達成できるように実習施設との調整を図る。また、学内で学んだことを介護実習で実践できるよう、実習目標を明確にした実習計画を立てる。
- (2) 実習指導者との連絡・報告・相談をすることで、より効果的な介護実習を展開する。
 - ① 介護実習Ⅰについては、実習の意義や目的、内容、実習指導者の役割などについて話し合い、共通の理解が得られるようにする。
 - ② 介護実習Ⅱについては、特に介護過程について実習指導者だけでなく職員ともケースカンファレンスを開催し、実習について共通の理解が得られるようにする。
- (3) 実習担当教員は実習期間中に実習施設を巡回し、個々の学生の実習課題を把握した上で、実習目標の達成状況を確認し、目標達成のための具体的な方法について指導を行う。

巡回教員は実習記録の添削を行い、学生が何を学び、感じとっているのかを把握する。また、実習の課題を学生自らが考え乗り越えられるように指導する。

4. 介護実習の段階と実習場所・目的・期間

【各実習の場所・目的・期間】

令和7年度入学生

	実習の場所	実習目的	単位	時間数
介護実習 I	訪問介護・通所介護実習	在宅介護等の特徴や役割を知り、利用者の生活環境の特性に応じた生活支援の方法を理解する。	4単位	3日 (24時間)
	グループホーム実習	認知症対応型共同生活介護の特徴や役割を知り、利用者の自立支援のための生活支援の方法を理解する。		5日 (40時間)
	障害者施設・介護老人福祉施設実習	障害者施設等の特徴や役割を知り、人権を尊重した個別性のある生活支援の方法を理解する。		5日 (40時間)
	介護老人福祉施設・介護老人保健施設実習	①介護老人保健施設等の特徴や役割を知る。 ②利用者の心身状況に応じた専門職としての視点、およびチームの一員としての連携の方法を踏まえて、生活支援技術を的確に選択し実践できる。 ③ICFに基づいたアセスメントができる。		9日 (72時間)
	リハビリテーション病院・介護医療院実習	①リハビリテーション病院等の概要やチームの一員としての介護福祉士の役割を理解する。 ②利用者（患者）の特性（機能障害）に配慮したコミュニケーションの方法を理解する。 ③利用者（患者）とその家族とコミュニケーションを図り、身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解する。 ④ICFに基づいた観察ができる。 ⑤利用者（患者）のADL、IADLや潜在能力を考えた生活支援の方法を理解する。		4日 (32時間)
介護実習 II	介護老人福祉施設・介護老人保健施設・障害者施設実習	①介護老人福祉施設等の特徴や役割を知る。 ②利用者の生活ニーズを捉え、生活支援のあり方を考え実践する。 ③ICFに基づいたアセスメントができる。	5単位	8日 (64時間)
	長期実習	利用者を総合的に捉え、個別性を踏まえた介護過程を展開することができる。		23日 (184時間)

【各実習の場所・目的・期間】

令和6年度入学生

	実習の場所	実習目的	単位	時間数
介護実習 I	介護老人福祉施設	①介護老人福祉施設の特徴や役割を知る。 ②高齢者・障害者を知る。	5 単位	3 日 (24 時間)
	グループホーム実習	認知症対応型共同生活介護の特徴や役割を知り、利用者の自立支援のための生活支援の方法を理解する。		5 日 (40 時間)
	訪問介護・通所介護実習	在宅介護等の特徴や役割を知り、利用者の生活環境の特性に応じた生活支援の方法を理解する。		4 日 (32 時間)
	障害者施設・介護老人福祉施設実習	障害者施設等の特徴や役割を知り、人権を尊重した個性のある生活支援の方法を理解する。		5 日 (40 時間)
	介護老人福祉施設・介護老人保健施設実習	①介護老人保健施設等の特徴や役割を知る。 ②利用者の心身状況に応じた専門職としての視点、およびチームの一員としての連携の方法を踏まえて、生活支援技術を的確に選択し実践できる。 ③ICF に基づいたアセスメントができる。		8 日 (64 時間)
	リハビリテーション病院・介護医療院実習	①リハビリテーション病院等の概要やチームの一員としての介護福祉士の役割を理解する。 ②利用者（患者）の特性（機能障害）に配慮したコミュニケーションの方法を理解する。 ③利用者（患者）とその家族とコミュニケーションを図り、身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解する。 ④ICF に基づいた観察ができる。 ⑤利用者（患者）の ADL、IADL や潜在能力を考えた生活支援の方法を理解する。		4 日 (32 時間)
介護実習 II	介護老人福祉施設・介護老人保健施設・障害者施設実習	①介護老人福祉施設等の特徴や役割を知る。 ②利用者の生活ニーズを捉え、生活支援のあり方を考え実践する。 ③ICF に基づいたアセスメントができる。	5 単位	7 日 (56 時間)
	長期実習	利用者を総合的に捉え、個性を踏まえた介護過程を展開することができる。		23 日 (184 時間)

地 域 共 生 学 科
(国際コミュニケーションコース)

< 令和7年度入学生 >

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				主要授業科目	備考		
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成				
専門教育科目	英会話Ⅰ	演習		2		○	○							◎	☆	
	英会話Ⅱ	演習		1				○						◎	☆	
	英会話Ⅲ	演習		1						○				◎	☆	
	英会話Ⅳ	演習		1							○			◎	☆	
	英会話Ⅴ	演習		1								○		◎	☆	
	英会話Ⅵ	演習		1									○	◎	☆	
	英語検定Ⅰ	講義		2			○							◎	☆	
	英語検定Ⅱ	講義		2				○						◎	☆	
	英語検定Ⅲ	講義		2						○				◎	☆	
	英語ライティング&گرامマーⅠ	講義		2	○											
	英語ライティング&گرامマーⅡ	講義		2										○		
	英語演習Ⅰ	演習		2							○					
	英語演習Ⅱ	演習		2								○	○			
	英語特別演習Ⅰ	演習		1					○							
	英語特別演習Ⅱ	演習		1					○							
	中国語基礎Ⅰ	講義		2	○	○										
	中国語基礎Ⅱ	講義		2	○	○										
	中国語基礎Ⅲ	講義		2	○	○										
	中国語会話Ⅰ	演習		1				○						◎	☆	
	中国語会話Ⅱ	演習		1								○	○	◎	☆	
	中国語検定Ⅰ	講義		2						○	○			◎	☆	
	中国語検定Ⅱ	講義		2						○	○			◎	☆	
	中国語検定Ⅲ	講義		2						○	○			◎	☆	
	中国語ライティング&گرامマーⅠ	講義		2				○								
	中国語ライティング&گرامマーⅡ	講義		2								○	○			
	中国語特別演習Ⅰ	演習		1					○							
	中国語特別演習Ⅱ	演習		1					○							
	韓国語基礎Ⅰ	講義		2	○	○										
	韓国語基礎Ⅱ	講義		2	○	○										
	韓国語基礎Ⅲ	講義		2	○	○										
	韓国語会話Ⅰ	演習		1				○						◎	☆	
	韓国語会話Ⅱ	演習		1								○	○	◎	☆	
	韓国語検定Ⅰ	講義		2						○	○			◎	☆	
	韓国語検定Ⅱ	講義		2						○	○			◎	☆	
	韓国語検定Ⅲ	講義		2						○	○			◎	☆	
	韓国語ライティング&گرامマーⅠ	講義		2				○								
	韓国語ライティング&گرامマーⅡ	講義		2								○	○			
	韓国語特別演習Ⅰ	演習		1					○							
	韓国語特別演習Ⅱ	演習		1					○							
	基礎日本語Ⅰ	講義		2	○	○										
	基礎日本語Ⅱ	講義		2					○							
	日本語会話Ⅰ	演習		2	○									◎	☆	
日本語会話Ⅱ	演習		2		○								◎	☆		
日本語会話Ⅲ	演習		2			○							◎	☆		
日本語会話Ⅳ	演習		2				○						◎	☆		
日本語会話Ⅴ	演習		2					○					◎	☆		
日本語会話Ⅵ	演習		2						○				◎	☆		

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				主要授業科目	備考	
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成			
専門教育科目	コミュニケーション	日本語検定Ⅰ		2	○									◎	☆
		日本語検定Ⅱ		2			○							◎	☆
		日本語検定Ⅲ		2					○					◎	☆
		日本語ライティング & グラマ I		2				○							
		日本語ライティング & グラマ II		2						○					
		日本語演習Ⅰ		2					○	○					
		日本語演習Ⅱ		2							○				
		応用日本語		2							○				
		総合日本語		2								○			
		比較文化研究		2								○			
	異文化理解演習		2	○	○								◎	★	
	国際・時事研究		2									○			
	キャリアデザイン	キャリアガイダンス		2	○	○									※
		ビジネス文書		2	○										※
		実践ビジネスマナー		1		○	○			○	○	○			※
		ホテル業論		2			○								※
		ホスピタリティビジネス		2							○	○			※
		実践グローバル・リーダーシップⅠ		2		○									
		実践グローバル・リーダーシップⅡ		2			○								
		実践グローバル・リーダーシップⅢ		2					○						
	課題解決	Awesome Sasebo!Ⅰ		1					○留	○				◎	★
		Awesome Sasebo!Ⅱ		1						○留	○			◎	★
		Awesome Sasebo!Ⅲ		1							○留	○		◎	★
	ギャップイヤー	学外学修事前指導		2	○		○							◎	★
		海外文化事情(留学)Ⅰ		2				○							
		海外文化事情(留学)Ⅱ		2				○							
		海外文化事情(留学)Ⅲ		6				○							
		インターンシップⅠ		2				○							※
		インターンシップⅡ		2				○							※
		インターンシップⅢ		2				○							※
		インターンシップⅣ		2				○							※
		実践Awesome Sasebo!(サービスマナー)Ⅰ		2				○	○						
		実践Awesome Sasebo!(サービスマナー)Ⅱ		2				○	○						
		実践Awesome Sasebo!(サービスマナー)Ⅲ		2				○	○						
		実践Awesome Sasebo!(サービスマナー)Ⅳ		2				○	○						
	学外学修事後指導		2					○					◎	★	
卒業研究		2									○	◎	★		
小計(84科目)			0	153											

※：実務経験者が担当

☆：コース選択必修

★：コース必修

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 基礎教育科目から必修8単位を含む10単位以上
- 国際コミュニケーションコースの専門教育科目からコース必修20単位を含む36単位以上
- 国際コミュニケーションコース専門教育科目に関して、以下の科目はコース必修とする
 - 「コミュニケーション」については、会話科目4単位以上、検定科目4単位以上
「異文化理解演習」2単位
 - 「課題解決」については、「Awesome Sasebo!Ⅰ～Ⅲ」3単位
 - 「ギャップターム」については、「学外学修事前指導」「学外学修事後指導」各2単位
 - 「卒業研究」2単位
- 基礎教育科目と専門教育科目の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

地 域 共 生 学 科
(国際コミュニケーションコース)

<令和6年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				主要授業科目	備考
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成		
専門教育科目 コミュニケーション（言語・多文化理解）	英会話Ⅰ	演習		2	○	○							◎	☆
	英会話Ⅱ	演習		1			○						◎	☆
	英会話Ⅲ	演習		1					○				◎	☆
	英会話Ⅳ	演習		1						○			◎	☆
	英会話Ⅴ	演習		1							○		◎	☆
	英会話Ⅵ	演習		1								○	◎	☆
	英語検定Ⅰ	講義		2			○						◎	☆
	英語検定Ⅱ	講義		2				○					◎	☆
	英語検定Ⅲ	講義		2					○				◎	☆
	英語ライティング&文法Ⅰ	講義		2	○									
	英語ライティング&文法Ⅱ	講義		2							○	○		
	英語演習Ⅰ	演習		2					○	○				
	英語演習Ⅱ	演習		2							○	○		
	英語特別演習Ⅰ	演習		1				○						
	英語特別演習Ⅱ	演習		1				○						
	中国語基礎Ⅰ	講義		2	○	○								
	中国語基礎Ⅱ	講義		2	○	○								
	中国語基礎Ⅲ	講義		2	○	○								
	中国語会話Ⅰ	演習		1			○						◎	☆
	中国語会話Ⅱ	演習		1							○	○	◎	☆
	中国語検定Ⅰ	講義		2					○	○			◎	☆
	中国語検定Ⅱ	講義		2					○	○			◎	☆
	中国語検定Ⅲ	講義		2					○	○			◎	☆
	中国語ライティング&文法Ⅰ	講義		2			○							
	中国語ライティング&文法Ⅱ	講義		2							○	○		
	中国語特別演習Ⅰ	演習		1				○						
	中国語特別演習Ⅱ	演習		1				○						
	韓国語基礎Ⅰ	講義		2	○	○								
	韓国語基礎Ⅱ	講義		2	○	○								
	韓国語基礎Ⅲ	講義		2	○	○								
	韓国語会話Ⅰ	演習		1			○						◎	☆
	韓国語会話Ⅱ	演習		1							○	○	◎	☆
	韓国語検定Ⅰ	講義		2					○	○			◎	☆
	韓国語検定Ⅱ	講義		2					○	○			◎	☆
	韓国語検定Ⅲ	講義		2					○	○			◎	☆
	韓国語ライティング&文法Ⅰ	講義		2			○							
	韓国語ライティング&文法Ⅱ	講義		2							○	○		
	韓国語特別演習Ⅰ	演習		1				○						
	韓国語特別演習Ⅱ	演習		1				○						
	基礎日本語Ⅰ	講義		2	○	○								
	基礎日本語Ⅱ	講義		2			○	○						
	日本語会話Ⅰ	演習		2	○								◎	☆
日本語会話Ⅱ	演習		2		○							◎	☆	
日本語会話Ⅲ	演習		2			○						◎	☆	
日本語会話Ⅳ	演習		2				○					◎	☆	
日本語会話Ⅴ	演習		2					○				◎	☆	
日本語会話Ⅵ	演習		2						○			◎	☆	

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				主要授業科目	備考	
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成			
専門教育科目	コミュニケーション	日本語検定Ⅰ		2	○								◎	☆	
		日本語検定Ⅱ		2			○						◎	☆	
		日本語検定Ⅲ		2					○				◎	☆	
		日本語ライティング&グラマーⅠ		2				○							
		日本語ライティング&グラマーⅡ		2						○					
		日本語演習Ⅰ		2					○	○					
		日本語演習Ⅱ		2							○				
		応用日本語		2						○					
		総合日本語		2							○				
		比較文化研究		2							○				
		異文化理解演習		2	○	○								◎	★
		国際・時事研究		2						○	○				
	キャリアデザイン	キャリアガイダンス		2	○	○				○				※	
		ビジネス文書		2	○	○	○	○						※	
		実践ビジネスマナー		1	○	○						○		※	
		ホテル業論		2		○								※	
		ホスピタリティビジネス		2							○	○		※	
		実践グローバル・リーダーシップⅠ		2					○						
		実践グローバル・リーダーシップⅡ		2					○						
		実践グローバル・リーダーシップⅢ		2					○						
	課題解決	Awesome Sasebo!Ⅰ		1						○			◎	★	
		Awesome Sasebo!Ⅱ		1							○		◎	★	
		Awesome Sasebo!Ⅲ		1								○	◎	★	
	ギャップイヤー	学外学修事前指導		2	○	○	○						◎	★	
		海外文化事情(留学)Ⅰ		2				○							
		海外文化事情(留学)Ⅱ		2				○							
		海外文化事情(留学)Ⅲ		6				○							
		インターンシップⅠ		2				○						※	
		インターンシップⅡ		2				○						※	
		インターンシップⅢ		2				○						※	
		インターンシップⅣ		2				○						※	
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅰ		2			○	○							
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅱ		2			○	○							
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅲ		2				○							
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅳ		2				○							
	学外学修事後指導		2				○	○				◎	★		
卒業研究		2							○	○	◎	★			
小計(84科目)			0	153											

※：実務経験者が担当

☆：コース選択必修

★：コース必修

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 基礎教育科目から必修8単位を含む10単位以上
- 国際コミュニケーションコースの専門教育科目からコース必修20単位を含む36単位以上
- 国際コミュニケーションコース専門教育科目に関して、以下の科目はコース必修とする
 - 「コミュニケーション」については、会話科目4単位以上、検定科目4単位以上
「異文化理解演習」2単位
 - 「課題解決」については、「Awesome Sasebo!Ⅰ～Ⅳ」4単位
 - 「ギャップターム」については、「学外学修事前指導」「学外学修事後指導」各2単位
 - 「卒業研究」2単位
- 基礎教育科目と専門教育科目の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

保 育 学 科

＜令和7・6年度入学生＞

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				保育士	幼稚園教諭	主要授業科目	備考
			必修	選択	前期		後期		前期		後期					
					1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q				
基礎教育科目	大学教育入門	講義	1		○										◎	
	データサイエンス基礎	講義	1			○									◎	※
	茶道文化Ⅰ	演習	1		○										◎	
	茶道文化Ⅱ	演習	1				○								◎	
	茶道文化Ⅲ	演習	1							○					◎	
	茶道文化Ⅳ	演習	1								○	○			◎	
	日本国憲法	講義	2		○	○								必	◎	
	ジェンダー論	講義		2			○	○								
	実践国語演習	演習		2			○	○								
	英語Ⅰ	演習	2		○	○								必	◎	
	国際コミュニケーション演習	演習		2			○	○						選		
	保育学特別演習	演習		2			○	○								
	スポーツ科学	講義	1									○	必	必	◎	
	スポーツ実習	実技	1									○	○	必	必	◎
	コンピュータ演習	演習		2	○	○								必		※
保育のICT	演習		2			○	○						選		※	
小計（16科目）			12	12												
保育に関する専門科目	保育原理	講義	2		○								必	必	◎	※
	教育原理	講義	2						○	○			必	必	◎	
	子ども家庭福祉	講義	2		○	○							必		◎	※
	社会福祉	講義	2			○							必		◎	
	社会的養護Ⅰ	講義	2				○	○					必		◎	
	保育者論	講義		2						○			必	必		
	教育方法論	講義		2							○	○	選	必		
	教育経営論	講義		2					○	○			選	必		
	保育の心理学	講義	2				○						必	必	◎	※
	子ども家庭支援の心理学	講義		2					○	○			必			※
	子どもの理解と援助	演習	1								○		必	必	◎	※
	臨床心理学	演習		2									選	選		※
	子どもの保健	講義	2		○								必		◎	※
	子どもの健康と安全	演習	1						○	○			必		◎	※
	子どもの食と栄養	演習	2				○	○					必		◎	
	子ども家庭支援論	講義		2								○	必			※
	カリキュラム論	講義	2				○						必	必	◎	※
	保育内容総論	演習	2		○	○							必	必	◎	※
	保育内容演習Ⅰ（健康）	演習		1			○	○					選必①	必		
	保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）	演習		1					○	○			選必①	必		
保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）	演習		1					○	○			選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（人間関係）	演習		1							○	○	選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（環境）	演習		1					○	○			選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（言葉）	演習		1			○	○					選必①	必			

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				保育士	幼稚園教諭	主要授業科目	備考
			必修	選択	前期		後期		前期		後期					
					1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q				
保育に関する専門科目	乳児保育Ⅰ	講義	2				○						必		◎	※
	乳児保育Ⅱ	演習		1					○				必			※
	特別支援教育概論	演習		2					○	○			必	必		
	社会的養護Ⅱ	演習		1					○				必			※
	子育て支援	演習		1						○			必			※
	保育相談	講義		2					○	○			選	必		※
	総合保育技術Ⅰ	演習		1	○	○							選	選		
	総合保育技術Ⅱ	演習		1			○	○					選	選		
	総合保育技術Ⅲa	演習		1					○	○			選	選		※
	総合保育技術Ⅳa	演習		1							○	○	選	選		※
	総合保育技術Ⅲb	演習		1					○	○			選	選		
	総合保育技術Ⅳb	演習		1							○	○	選	選		
	総合保育技術Ⅲc	演習		1					○	○			選	選		
	総合保育技術Ⅳc	演習		1							○	○	選	選		
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究a）	演習		1			○	○					選	選		※
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究b）	演習		1									選	選		※
	保育内容演習Ⅱ（マーチングa）	演習		1			○	○					選	選		
	保育内容演習Ⅱ（マーチングb）	演習		1					○	○			選	選		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰa）	演習		1	○	○							選必②	選A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰb）	演習		1			○	○					選必②	選A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱa）	演習		1					○	○				選A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱb）	演習		1							○	○		選A		
	子どもと表現（歌唱）	演習		1	○	○							選必②			※
	子どもと表現（造形a）	演習		1			○	○					選必②	選A		
	子どもと表現（造形b）	演習		1							○	○	選必②	選A		
	子どもと表現（リズム）	演習		1	○	○							選必②	選A		
	子どもと健康	演習		1			○						選必②	選A		
	子どもと言語	演習		1	○	○							選必②	選A		
	子どもの心	演習		1				○					選必②	選A		
	保育実習Ⅰ	実習		4			○	○	○	○			必			※
	保育実習Ⅱ	実習		2					○	○			選必③			※
	保育実習Ⅲ	実習		2					○	○			選必③			※
教育実習	実習		4			○		○					必		※	
実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）	演習		2			○	○	○	○			必	必		※	
保育実習指導Ⅱ	演習		1					○	○			選必③			※	
保育実習指導Ⅲ	演習		1					○	○			選必③			※	
保育実践演習（教職実践演習 幼稚園）	演習		2							○	○	必	必		※	
卒業研究Ⅰ	演習		1					○	○			選				
卒業研究Ⅱ	演習		1							○	○	選				
小計（64科目）			24	68												
合計（79科目）			36	80												

※：実務経験者が担当

保育士資格取得の要件

基礎教育科目は卒業必修科目を含め12単位以上必要、保育に関する必修科目はすべて必要、保育内容演習Ⅰ（選必①）は5単位以上必要、保育内容の理解と方法（選必②）は4単位以上必要、保育に関する選択科目（選）は5単位以上必要、保育実習に関する選択科目（選必③）は保育実習Ⅱと保育実習指導Ⅱか保育実習Ⅲと保育実習指導Ⅲのいずれか3単位以上必要。

幼稚園教諭二種免許取得の要件

卒業必修科目を含め必修科目はすべて必要、選Aより4単位以上必要。

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 1 基礎教育科目については、外国語科目（2単位以上）、保健体育科目（講義及び実技2単位以上）を含めた12単位以上必要。
- 2 保育に関する専門科目については、必修科目（24単位）を含め50単位以上必要。
- 3 基礎教育科目（12単位以上）と保育に関する専門科目（50単位以上）の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

指定保育士養成施設の修業科目等対照表

＜令和7・6年度入学生＞

系列	告示による教科目		本学開講科目		
	教科目	単位数	科目名	単位数	
教養科目	外国語（演習）	2以上	英語 I	2	
			国際コミュニケーション演習	2	
	体育（講義）	1	スポーツ科学	1	
	体育（実技）	1	スポーツ実習	1	
	その他	6以上	大学教育入門	1	
			データサイエンス基礎	1	
			茶道文化Ⅰ	1	
			茶道文化Ⅱ	1	
			茶道文化Ⅲ	1	
			茶道文化Ⅳ	1	
			日本国憲法	2	
			ジェンダー論	2	
			実践国語演習	2	
			コンピュータ演習	2	
		保育のICT	2		
小 計		10以上	小 計		22
保育の 関する 本質的 科目・ 目的 に	保育原理（講義）	2	保育原理	2	
	教育原理（講義）	2	教育原理	2	
	子ども家庭福祉（講義）	2	子ども家庭福祉	2	
	社会福祉（講義）	2	社会福祉	2	
	子ども家庭支援論（講義）	2	子ども家庭支援論	2	
	社会的養護Ⅰ（講義）	2	社会的養護Ⅰ	2	
	保育者論（講義）	2	保育者論	2	
解 に 育 関 す る 対 象 の 科 目 理	保育の心理学（講義）	2	保育の心理学	2	
	子ども家庭支援の心理学（講義）	2	子ども家庭支援の心理学	2	
	子どもの理解と援助（演習）	1	子どもの理解と援助	1	
	子どもの保健（講義）	2	子どもの保健	2	
	子どもの食と栄養（演習）	2	子どもの食と栄養	2	
保 育 の 内 容 科 目 方 法 に 関	保育の計画と評価（講義）	2	カリキュラム論	2	
	保育内容総論（演習）	1	保育内容総論	2	
	保育内容演習（演習）	5	保育内容演習Ⅰ（健康）	1	
			保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）	1	
			保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）	1	
			保育内容演習Ⅰ（人間関係）	1	
			保育内容演習Ⅰ（環境）	1	
		保育内容演習Ⅰ（言葉）	1		

系列	告示による教科目		本学開講科目	
	教科目	単位数	科目名	単位数
保育の内容・方法に関する科目	保育内容の理解と方法（演習）	4	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰa）	1
			子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰb）	1
			子どもと表現（歌唱）	1
			子どもと表現（造形a）	1
			子どもと表現（造形b）	1
			子どもと表現（リズム）	1
			子どもと健康	1
			子どもと言語	1
			子どもの心	1
	乳児保育Ⅰ（講義）	2	乳児保育Ⅰ	2
乳児保育Ⅱ（演習）	1	乳児保育Ⅱ	1	
子どもの健康と安全（演習）	1	子どもの健康と安全	1	
障害児保育（演習）	2	特別支援教育概論	2	
社会的養護Ⅱ（演習）	1	社会的養護Ⅱ	1	
子育て支援（演習）	1	子育て支援	1	
実保育	保育実習Ⅰ（演習）	4	保育実習Ⅰ	4
	保育実習指導Ⅰ（演習）	2	実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）	2
演習合	保育実践演習（演習）	2	保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	2
小 計		51	小 計	58
保育の本質・目的に関する科目		6以上	教育方法論	2
保育の対象の理解に関する科目			教育経営論	2
保育の内容・方法に関する科目			臨床心理学	2
			保育相談	2
			保育内容演習Ⅱ（保育教材研究a）	1
			保育内容演習Ⅱ（保育教材研究b）	1
			保育内容演習Ⅱ（マーチングa）	1
			保育内容演習Ⅱ（マーチングb）	1
			総合保育技術Ⅰ	1
			総合保育技術Ⅱ	1
			総合保育技術Ⅲa	1
			総合保育技術Ⅳa	1
			総合保育技術Ⅲb	1
			総合保育技術Ⅳb	1
総合保育技術Ⅲc	1			
総合保育技術Ⅳc	1			
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	2
			保育実習Ⅲ	2
保育実習	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1
			保育実習指導Ⅲ	1
小 計		9以上	小 計	28
合 計		70以上	合 計	108

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本学開講科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2		
			保育原理	2		
	教職の意義及び教員及び教員の役割・職務内容		保育者論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育経営論	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2		
	教育課程の意義及び編成の方法		カリキュラム論	2		
教育方法及び時間等に関する科目	教育の方法及び技術	4	教育方法論	2		
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	1		
	教育相談の理論及び方法		臨床心理学		2	
			保育相談	2		
教育実践	教育実習	5	教育実習	4		
			実習指導（保育実習指導Ⅰ、教育実習指導）	2		
	教職実践演習	2	保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	2		
計		17	計	27	2	
大学が独自に設定する科目		2	最低修得単位数を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得	0		
計		2	計	0		

実習（保育所・施設・幼稚園）の方針

I 保育実習（保育所・施設）

1. 保育実習の目的

保育実習は、本学保育学科（保育士養成課程）で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、子ども・児童に対する理解を通じて保育の理論と実践との関係について習熟させることを目的とする。

2. 保育実習履修の方法

保育実習は、次に掲げる履修方法で実施することとする。

実習種別	選択／必修	単位数	実習日数
保育実習Ⅰ	必修科目	4単位	20日間
保育実習Ⅱ	選択必修科目	2単位	10日間
保育実習Ⅲ	選択必修科目	2単位	10日間

（※実習時間は1日8時間以上×日数とする）

(1) 各実習における実習施設の役割

保育実習Ⅰ

- ① 保育所
- ② 保育所以外の児童福祉施設等

乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、障害児入所施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、児童発達支援センター、障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所
--

保育実習Ⅱ 保育所

保育実習Ⅲ 実習Ⅰの施設に加え、児童厚生施設等

- (2) 保育実習Ⅰ（必修科目）は、1年後期と2年通年で開講する。実習に関する事前事後の指導1単位（教育実習を含め2単位）のほか、保育所における実習2単位（10日間）および、保育所以外の施設における実習2単位（10日間）の計5単位とする。
- (3) 保育実習を行う(1)に該当する保育所以外の施設への学生の配当は、実習施設の規模、指導担当者の状況などを考慮して本学で定める。
- (4) 保育学科教員は、実習期間中に実習施設を訪問して学生を指導することを原則とし、これにより難しい場合は、主として実習指導を担当する教員が、手紙・電話・電子メールなどの通信方法を使って学生の指導を行う。

3. 保育実習計画

（令和6年度入学生）

実習種別・実習先		学年	実習期間
保育実習Ⅰ	保育所 施設	2年次	令和7年6月2日（月）～6月13日（金）の内の10日間
		1年次	令和7年2月17日（月）～3月末日の内の10日間
保育実習Ⅱ	保育所	2年次	令和7年8月18日（月）～8月28日（木）の内の10日間
保育実習Ⅲ	施設	2年次	令和7年8月18日（月）～8月28日（木）の内の10日間

(令和7年度入学生)

実習種別・実習先		学年	実習期間
保育実習Ⅰ	保育所 施設	2年次	令和8年6月2日(火)～6月12日(金)の内の10日間
		1年次	令和8年2月24日(火)～3月31日(火)の内の10日間
保育実習Ⅱ	保育所	2年次	令和8年8月17日(月)～8月27日(木)の内の10日間
保育実習Ⅲ	施設	2年次	令和8年8月17日(月)～9月4日(金)の内の10日間

【保育実習資料】

1. 保育実習の日数

科目 (実習種別)	単位	必要 日数	実習期間	該当施設	備考
保育実習Ⅰ (必修)	4	10日	1年生の 2月～3月	児童福祉施設等 乳児院、母子生活支援施設、 児童養護施設、障害児入所施設、 児童心理治療施設、児童自立支援施設、 児童発達支援センター、障害者支援施設、 指定障害福祉サービス事業所	基本的には 学校で実習 先配当を行う
		10日	2年生の6月	保育所	学生自身が 依頼する
保育実習Ⅱ (選択必修)	2	10日	2年生の8月	保育所	学生自身が 依頼する
保育実習Ⅲ (選択必修)	2	10日		児童福祉施設等 乳児院、母子生活支援施設、 児童養護施設、障害児入所施設、 児童心理治療施設、児童自立支援施設、 児童発達支援センター、障害者支援施設、 指定障害福祉サービス事業所	基本的には 学校で実習 先配当を行う

2. 実習の形態

<パターン1>

「保育実習Ⅰ(必修)」(施設10日+保育所10日)

「保育実習Ⅱ(選択必修)」(保育所10日間)

<パターン2>

「保育実習Ⅰ(必修)」(施設10日+保育所10日)

「保育実習Ⅲ(選択必修)」(施設10日間)

II 教育実習（幼稚園）

1. 幼稚園教育実習の目的

幼稚園教育実習は、本学保育学科で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、幼児に対する理解を通じて幼稚園保育の理論と実践との関係について習熟させることを目的とする。

2. 幼稚園教育実習履修の方法

幼稚園教育実習は、次に掲げる履修方法で実施することとする。

実習種別	実習機関	選択／必修	単位数	実習日数
教育実習	幼稚園	必修科目	4単位	20日間

- (1) 幼稚園教育実習（必修科目）5単位は、事前事後の指導1単位（保育実習を含め2単位）のほか、幼稚園における実習4単位（4週間）とする。
- (2) 幼稚園教育実習4週間の実習期間は、教育効果を考慮して、2期（2週間×2回）に分けて実施する。
- (3) 保育学科教員は、実習期間中に実習幼稚園を訪問して学生を指導することを原則とし、これにより難しい場合は、手紙・電話・電子メールなどの通信方法を使って学生の指導を行なう。

3. 幼稚園教育実習計画

（令和6年度入学生）

実習種別・実習先		学年	実習期間
教育実習	幼稚園（1期）	2年次	令和6年11月18日（月）～11月29日（金）の内の10日間
	幼稚園（2期）	2年次	令和7年9月1日（月）～9月13日（土）の内の10日間

（令和7年度入学生）

実習種別・実習先		学年	実習期間
教育実習	幼稚園（1期）	1年次	令和7年11月10日（月）～11月21日（金）の内の10日間
	幼稚園（2期）	2年次	令和8年9月7日（月）～9月18日（金）の内の10日間

※実習には、幼稚園の行事实習（運動会、遊戯会等）を含む場合がある。

専攻科（保育専攻）

＜令和7・6年度入学生＞

授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				幼稚園一種免	主要授業科目	備考		
		必修	選択	前期		後期		前期		後期						
				1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q					
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	幼児英語指導法	講義	2						○	○						
	実践コンピュータ	演習	2			○	○							◎	※	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	子どもと健康特論Ⅰ	演習	1								○		◎		
		子どもと健康特論Ⅱ	演習	1												
		子どもと人間関係特論	講義	2			○									
		子どもと環境特論	講義	2				○								※
		子どもと言葉特論	講義	2												
		子どもと表現特論（音楽Ⅰ）	演習	1		○	○								◎	
		子どもと表現特論（音楽Ⅱ）	演習	1				○	○							
		子どもと表現特論（造形Ⅰ）	演習	1		○									◎	
	子どもと表現特論（造形Ⅱ）	演習	1			○										
	保育内容の指導法	保育内容（表現音楽）研究Ⅰ	演習	2						○					◎	
		保育内容（表現音楽）研究Ⅱ	演習	2									○			
		保育内容（表現造形）研究Ⅰ	演習	2								○			◎	
		保育内容（表現造形）研究Ⅱ	演習	2												
		保育内容（人間関係）研究	演習	2							○				◎	
保育内容（環境）研究		演習	2		○	○										
保育内容（言葉）研究	演習	2		○	○											
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	保育原理特論	講義	2			○							◎		
	教職の意義及び教員及び教員の役割・職務内容	保育職特論	講義	2							○			◎		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	保育経営論	講義	2			○							◎	※	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	心身の発達と学習過程	講義	2			○	○						◎		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育特論	講義	2												
	教育課程の意義及び編成の方法	カリキュラム特論	講義	2						○	○					※
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	臨床心理学特論	講義	2												
	教育相談の理論及び方法	保育児童（子育て）相談	講義	2						○				◎		

授 業 科 目		授業 方法	単位数		1 年				2 年				幼稚園 種免	主要 授業 科目	備考		
			必修	選択	前期		後期		前期		後期						
					1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	5 Q	6 Q	7 Q	8 Q					
その他の科目	子どもと道徳	講義		2													
	ホスピタリティ論	講義	2									○		◎			
	障害福祉論	講義	2									○	○	◎	※		
	子ども家庭援助技術特論	講義		2					○								
	子ども家庭福祉特論	講義	2		○	○								◎	※		
	世代間交流論	講義		2							○						
	保育者看護論	講義		2							○						※
	児童文化研究	講義		2				○									
	保育実践特別研究Ⅰ	演習		2	○	○											※
	保育実践特別研究Ⅱ	演習		2			○	○									※
	保育実践特別研究Ⅲ	演習		2					○	○							※
	保育実践特別研究Ⅳ	演習		2								○	○				※
	修了研究Ⅰ	演習	2		○	○									◎		
	修了研究Ⅱ	演習	2				○	○							◎		
	修了研究Ⅲ	演習	4						○	○	○	○			◎		
	文書講読プレゼンスキル演習	演習		2	○												
	生涯スポーツ	演習		1									○				
	芸術論	講義		2									○				
合計			35	48													

※：実務経験者が担当

修了の要件

必修科目35単位は必ず履修し、62単位以上の修得を修了の要件とする。

教職課程（幼稚園教諭一種免許状）

＜令和7・6年度入学生＞

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本学開講科目	単位数		備考	
				必修	選択		
第六十六 条の 6	日本国憲法	0(2)					
	体育	0(2)					
	外国語コミュニケーション	0(2)	幼児英語指導法		2		
	情報機器の操作	0(2)	実践コンピュータ	2			
	計	0(8)	計	2	2		
領域及び 保育内容 の指導法 に関する 科目	領域に 関する 専門的 事項	健康	4(16)	子どもと健康特論Ⅰ	1		
				子どもと健康特論Ⅱ		1	
		人間関係		子どもと人間関係特論		2	
		環境		子どもと環境特論		2	
		言葉		子どもと言葉特論		2	
		表現		子どもと表現特論（音楽Ⅰ）	1		
				子どもと表現特論（音楽Ⅱ）		1	
				子どもと表現特論（造形Ⅰ）	1		
		子どもと表現特論（造形Ⅱ）			1		
		複数の事項を合わせた科目					
	保育内容の指導法	保育内容（表現音楽）研究Ⅰ		2			
		保育内容（表現音楽）研究Ⅱ			2		
		保育内容（表現造形）研究Ⅰ		2			
		保育内容（表現造形）研究Ⅱ			2		
		保育内容（人間関係）研究		2			
保育内容（環境）研究			2				
	保育内容（言葉）研究		2				
計	4(16)	計	9	17			
教育の 基礎的 科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4(10)	保育原理特論	2			
	教職の意義及び教員及び教員の役割・職務内容		保育職特論	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		保育経営論	2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		心身の発達と学習過程	2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育特論		2		
	教育課程の意義及び編成の方法		カリキュラム特論		2		
等指指学道 に導習徳 関、法の す教及時 科育び間 目相合 談生等 徒のな	教育の方法及び技術	0(4)					
	幼児理解の理論及び方法		臨床心理学特論		2		
	教育相談の理論及び方法		保育児童（子育て）相談	2			
実教 践育	教育実習	0(5)					
	教職実践演習	0(2)					
計	4(17)	計	10	6			

最低修得単位数を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得

注）括弧内の数値は幼稚園教諭二種免許状取得に係る単位数を含んだ単位数を示す。